

ユーカリ品種「銀世界」「グニー」における 病害発生と比較（檜葉町）

福島県農業総合センター 浜地域農業再生研究センター

事業名 福島県営農再開支援事業

小事業名 営農再開に向けた作付・飼養実証

研究課題名 浜通り平坦地域におけるユーカリ病害の防除方法の検討（檜葉町）

担当者 佐藤優平、吉田雅貴

I 新技術の解説

1 要旨

檜葉町では、営農再開の花木品目としてユーカリが注目され、令和2年度より本格的な出荷が始まったが、令和3年度より斑点性の病害の発生が見られている。

檜葉町ほ場において、現地で指導されている散布頻度で薬剤散布を行ったところ、「グニー」は「銀世界」より病害による被害が少なく、収量を確保できた。

- (1) 銀世界の発病葉率は、収穫直前の時点で59%となり、被害が大きかった（図1）。出荷可能な本数は株あたり9.5本となった。（表1）。
- (2) グニーの発病葉率は、収穫直前の時点で8.0%となり、出荷可能な本数は株あたり17.4本となった（図1、表1）。

2 期待される効果

檜葉町におけるユーカリ栽培において、品種選定の参考になる。

3 活用上の留意点

- (1) 発病葉率は病斑が見られる葉の割合を調査した。病斑については複数の病害が混在しており、今後特定が必要である（図2）。
- (2) 散布薬剤は樹木類に登録がある薬剤を使用した。

II 具体的データ等

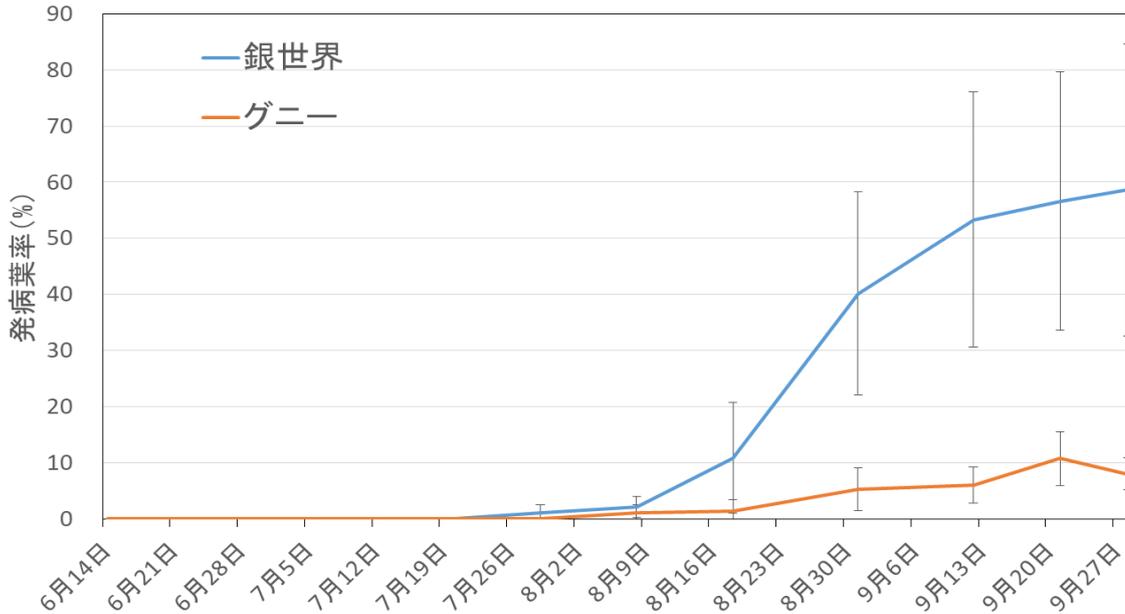


図1 銀世界およびグニーにおける発病葉率の推移



図2 銀世界およびグニーの病斑の様子（左が「銀世界」、右が「グニー」）

表1 各品種の出荷可能本数

品種	出荷可能本数 (本/株)		出荷規格別本数(本)				
			100cm	90cm	80cm	70cm	60cm
銀世界	9.5 ±	13.6	8.8	0.5	0.0	0.0	0.0
グニー	17.4 ±	6.4	11.2	1.6	1.6	2.4	0.8

※出荷可能本数は収穫枝のうち出荷可能な本数口

(JA福島さくらふたば地区本部ユーカリ出荷選別規格に準じて病害がない又は軽微なもの)

※出荷規格はJA福島さくらふたば地区本部ユーカリ出荷選別規格に準じた。

※値は平均値±標準偏差

※銀世界については欠株が多く、病害が少ない特異株が1本あったこともあり、ばらつきが大きくなっている。

III その他

1 執筆者

佐藤優平

2 実施期間

令和4年度

3 主な参考文献・資料

なし